

# 平成19年度のまちづくり委員会がスタートしました。

平成 19 年度も、昨年度に引き続き高砂地区開発協議会の下部組織として「まちづくり委員会」を立ち上げ、昨年度に取りまとめた「まちづくり基本構想の考え方」を踏まえ、先駆事例の視察などを行いながら、地域提案型の『まちづくり基本構想（案）』を作成します。そこで、6月28日から第1回の委員会を開催し、今年度の活動がスタートしました。

第1回まちづくり委員会の様子



第3回まちづくり委員会の様子

# 先駆事例の視察について（第2回まちづくり委員会）

現在、高砂地区開発協議会では、連続立体交差事業と併せた一体的なまちづくりを推進するため勉強会を開催しています。

そこで、今後の検討に役立たせるため駅周辺のまちづくりの事例や車庫の事例などの視察を下記のとおり実施しました。今回の事例視察は、鉄道立体化に併せたまちづくりや、鉄道立体化・複々線化に伴って新たに整備された電車車庫や、その屋上に整備された公園などを視察しました。

日時 2007年7月18日  
 視察場所 小田急線 狛江駅  
           小田急線 喜多見車庫  
           西武池袋線 練馬駅  
 参加者数 30名



写真 上段：狛江駅  
 中段：喜多見車庫  
 下段：練馬駅



# 高砂地区開発協議会ニュース

第3号 平成19年9月  
 発行元：高砂地区開発協議会  
           会長 半沢 勝正  
 協力：葛飾区都市整備部  
 電話：5654-8344

# 成田新高速鉄道開業に伴う工事の実施に際し「京成本線の鉄道立体化の早期事業化」について要請しました。



東京都への要請

高砂地区開発協議会と高砂地区町会連合会は、本年3月15日、16日に、成田新高速鉄道開業に伴う金町線高架化工事が実施されるのに際し、「京成本線の鉄道立体化の早期事業化を求める要望書」を東京都及び京成電鉄へ提出して参りました。

東京都は政策担当特別秘書、都市整備局長、建設局長、また京成電鉄は取締役（鉄道副本部長）が対応し、鉄道立体化に向けて前向きな考えを示していただきました。

高砂地区開発協議会では、鉄道立体化の早期事業化に向け、国や東京都への要請活動、高砂駅周辺のまちづくり勉強会など様々な取り組みを行っています。

そこで、昨年11月には協議会ニュース第2号を発行し、活動内容などを皆様にお知らせしたところです。その後「まちづくりアンケート調査」なども実施し、多くの方々のご意見を頂戴しました。

アンケート結果の概要については、既に回覧等でお知らせしましたが、調査に際し、各町会長をはじめ役員の皆様、アンケートにご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。皆様からの貴重なご意見については、今後の検討に役立てていきたいと考えております。

今後とも、一日も早い鉄道立体化の実現に向け、積極的な活動を行って参りますので、何卒ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。



京成電鉄への要請

高砂地区開発協議会会長 半沢勝正

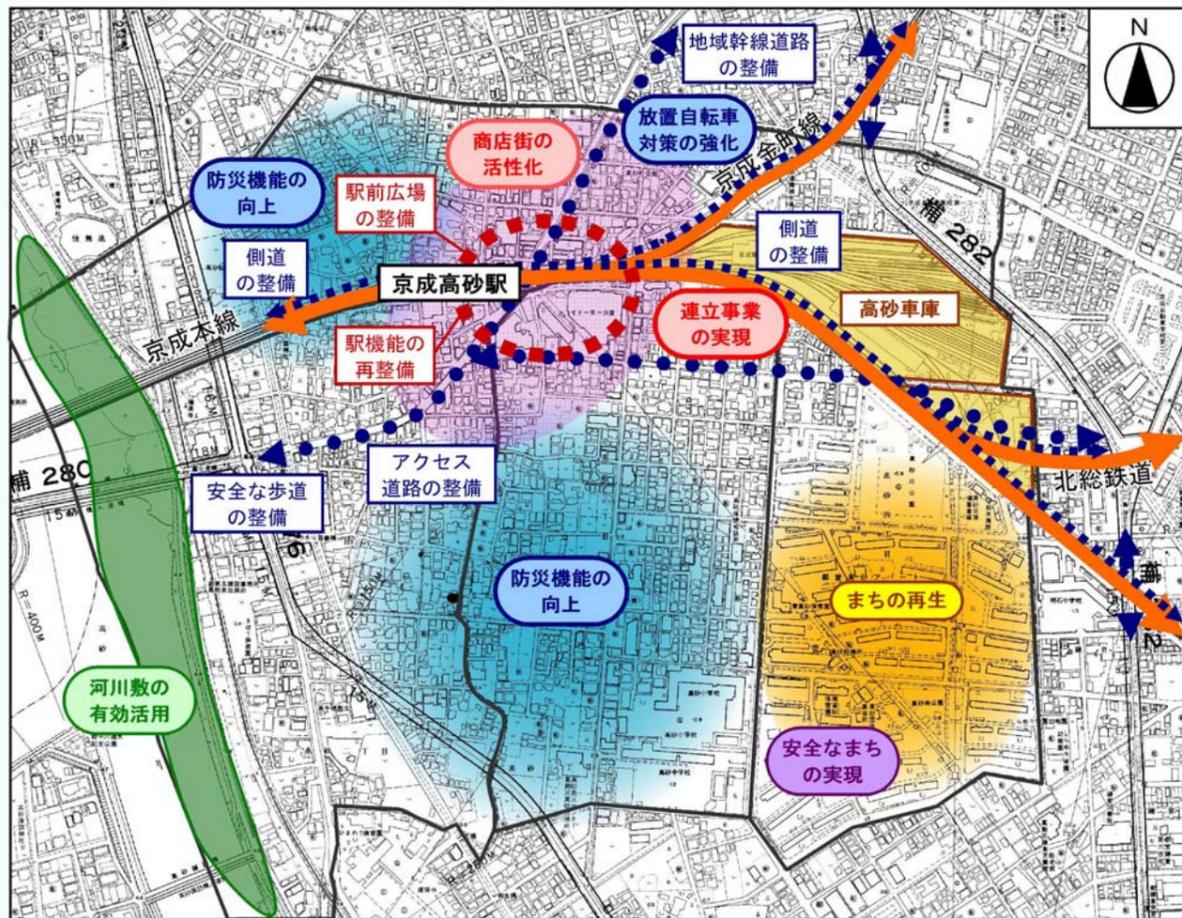
# 平成18年度の取り組みについて

高砂地区開発協議会では、京成本線（京成高砂駅～江戸川駅間）の連続立体交差事業と併せた一体的なまちづくりを推進するため、平成18年度に計6回のまちづくり勉強会を開催し、駅周辺の交通量調査やまちづくりアンケートなどを実施し、「まちづくり基本構想の考え方」（下図）を取りまとめました。

## 《平成18年度のまちづくり委員会スケジュール》

委員会	テーマ
第1回	●高砂駅周辺地区の現況と位置づけ
第2回	●まち歩きの実施
第3回	●まち歩きのまとめ ●まち歩きでの問題点・課題の整理 ●交通量・まちづくりアンケート調査内容報告
第4回	●交通量調査の結果報告 ●駅前広場について ●商業について ●まちづくりアンケート調査結果報告
第5回	●まちの問題点・課題の整理 ●連続立体交差事業について
第6回	●まちの問題点・課題の再整理 ●まちづくりの目標設定

## 《まちづくり基本構想の考え方》



# まちづくりアンケート結果

高砂地区開発協議会では、今後のまちづくりの検討にあたり協議会メンバーだけではなく、地域の皆様から広く意見を頂くため「まちづくりアンケート調査」を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

調査実施：平成18年11月～12月  
調査地域：高砂二丁目～五丁目  
配布数：5,982世帯  
調査方法：各戸配布、郵送回収調査  
回収数：1,296件（21.7%）

### 《鉄道関連》

- 連続立体交差事業の早期事業化を実現し、踏切の解消と駅機能の充実を図ります。
- 連続立体交差事業の実現に際し、高砂車庫用地について検討します。

### 《道路関連》

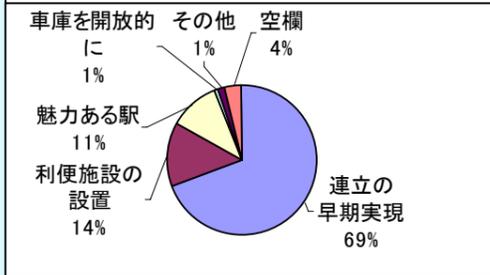
- 連立事業に合わせ、駅前広場や広場へのアクセス道路を整備します。
- 連立事業に合わせ、道路ネットワークを充実させます。
- 連立事業に合わせ、側道を整備します。
- 都市計画道路の整備に伴って通過交通が排除できることから、駅周辺の道路は自転車や歩行者にやさしい道路とします。

### 《まちづくり関連》

- 細い路が多いまたは公園が少ない地域では、緊急車両が通行できる道路や公園などを整備することで防災機能の向上を図ります。
- 空き店舗が多くなっている北口商店街では、商店街の活性化につながるまちづくりについて検討します。
- 居住人口が激減し、老朽化が問題となっている高砂団地では、地域全体のまちづくりの視点から団地の建て替え計画を進めます。
- 安全なまちの実現を目指します。
- 中川・新中川河川敷へアクセス出来るようにします。
- 駅前放置自転車対策を進めます。

### 〔鉄道関連〕

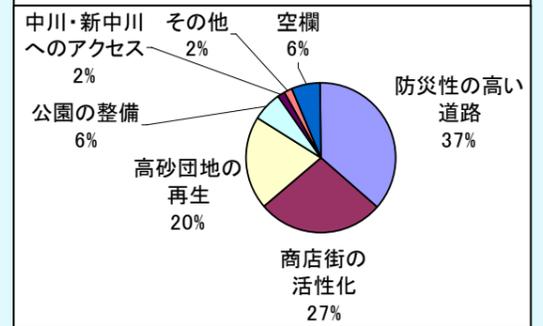
〔問〕鉄道について、あなたの意見に最も近いものをお選びください



鉄道関連については、鉄道立体化に伴い駅施設の改善も併せて行われることを考えると、全体的に鉄道の立体化に何らかの期待をしている方が約9割を占めています。

### 〔まちづくり関連〕

〔問〕まちづくりについて、あなたの意見に最も近いものをお選びください

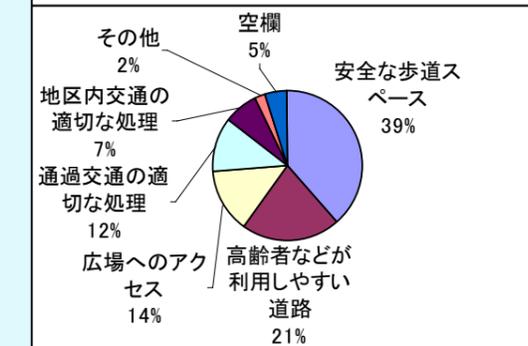


まちづくりについては、「防災性の高い道路」や「商店街の活性化」、「高砂団地の再生」を挙げている方が多くなっています。

地域別に見ると、高砂二・三丁目では防災性の高い道路を望まれている方が最も多く、次いで商店街の活性化が多くなっています。高砂四丁目では高砂団地の再生を望まれている方が最も多くなっています。高砂五丁目では、防災性の高い道路と商店街の活性化を望んでいる方が同数で最も多くなっています。

### 〔道路関連〕

〔問〕道路について、あなたの意見に最も近いものをお選びください



道路については、「安全な歩道スペースの確保」や「高齢者や障害者が利用しやすい道路づくり」を挙げている方が多くなっています。また、駅周辺における交通結節機能としての駅前広場の効果に何らかの期待をしている方が約9割を占めています。地域別に見ても傾向は大きく変わりませんが、道路について、高砂二丁目に住んでいる方で安全な歩道スペースを選択された方が多くなっています。

〔問〕駅前広場について、あなたの意見に最も近いものをお選びください

